

授業科目	医療と倫理				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NU11116J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP4-1			
担当教員	工藤 二郎							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>医療上で生じる様々な倫理上の意見の衝突の中で、どのように臨床的な決定がなされているのか、また、どう議論されるべき なのかをお互いに考えながら授業をすすめます。実務家教員として、病院の臨床医で管理を行っていた経験を生かし、倫理的決定の場面を説明します。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.ヒポクラテスの誓いやニュルンベルグ綱領、患者の権利章典に関する宣言などについて説明できる。 2.無加害、守秘、相応性理論、パターンリズム、自律尊重、QOL など、生命医学的倫理の諸原則や理論について説明できる。 3.極端なパターンリズムモデル、極端な自律性モデル、パートナーシップ(リレーションシップ)などについて説明できる。 4.生殖補助医療、出生前診断、また具体的な妊娠、出産、新生児や幼児の事例で倫理性について考察できる。 5.終末期の基本概念を理解でき、説明できる。日本救急医学会の治療中止ガイドラインが理解できる。 6.倫理委員会、病院の薬剤治験審査委員会などの役割、薬害に付いて説明できる。 7.困った事例等について倫理的な視点で議論ができる。 8.実際の事例について考えを論理的に記述できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		80					80	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)		20					20	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

講義で学習した倫理用語や倫理概念が正確に理解され記憶されており、現実の患者と対応した時それらを基盤に医療グループ内で議論ができる。		講義で学習した倫理用語や倫理概念がおよそ60%～80%理解されており、それらを説明できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	倫理に関する歴史的な出来事、および、それに沿って生み出されて来た概念や用語について (外部講師、工藤)	パワーポイントを使って授業し、20分間は記述形式の小テストを行う。	パワーポイントの復習を行い、小テストの模範解答を考える。	30
2	重要な倫理上の概念のいくつかについて	同上	同上	30
3	医療専門職と患者の関係について	同上	同上	30
4	生命の始まりの時期に関する臨床上的問題について	同上	同上	30
5	生命の終わりの時期に関する臨床上的問題について	同上	同上	30
6	倫理委員会、薬剤治験審査委員会など倫理と関係する委員会の役割と薬害について	同上	同上	30
7	倫理的見地から議論が行われる事例の紹介	同上	同上	30
8	実際の事例について	事例を紹介し、作文形式の小テストを行う	同上	30
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本学入学後、1年前期に学んだ総合人間学や基礎看護学の科目			
テキスト	数種のテキストに基づいたパワーポイントによるスライドコピーを配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	シリーズ生命倫理学全 20 巻丸善出版株式会社、小田正枝・園山繁樹編『総合人間学概論』ヌーヴェルヒロカワ、藤野昭宏監訳「病院倫理学入門」丸善出版、榊形公也監訳「医療倫理学の基礎」時空出版、			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	倫理には政治、文化、宗教、心理、経済などが関連しています。そのため、医療上、倫理的とされる行為は、国によって、また国内の各病院によっても解決法が異なる場合もあります。それらは臨床の場で問題となっても、多くは現場で手段がとられ、何とか前に進みます。そんな時、どのような基準で話し合い、結論を得ようとすれば良いのか学習します。図書館にたくさんの医療倫理に関する本があるので読んでみて下さい。			
達成度評価に関するコメント	小テストは、講義に出た概念の正しい把握、質問に対する回答の妥当性、単語の正確な使用、講義以外の正しい情報や表現の包含、適度な長さ(指定された字数)のうちに必要で十分な説明がある、の5点を20%ずつ配点します。			